

備前市施策評価シート

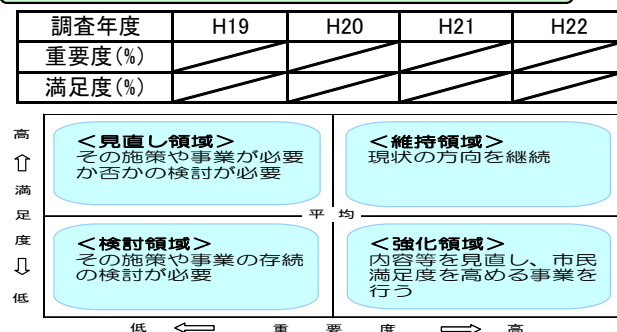
(平成21年度事業)

施策名 (小項目)	交通安全	コード	作成者	役職	市民課長
		01-04-01	氏名	谷本 隆二	
			電話	64-1818	
			このシート作成に要した時間	2.0 時間	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	安全で安心して暮らせるまちづくり
① 対象と目的 (誰のために、何のために)	道路通行者の交通事故防止	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	全国的に交通事故死者数は減少傾向にありますが、事故発生件数は依然として増加傾向にあります。特に、高齢社会が急速に進む中で、全交通事故死傷者に占める高齢者の割合が年々高くなっています。このような中で、市民一人ひとりが交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させることが必要であり、今後とも、家庭、学校、職場、地域などで、幼児から高齢者までに幅広い交通安全教育を推進し、交通安全意識の高揚を図る必要があります。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全意識の高揚 交通安全教育の実施 交通安全施設の整備 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度



調査結果に対するコメント、市民の反応等
 [調査対象でない施策は、市民の反応等]
 市民意識調査において「交通マナーが守られていると感じている市民の割合」は、下記参考指標③のとおり、低いレベルでほぼ横ばいとなっている。今後とも関係団体等との協力で地道な啓発活動などを展開する必要があります。

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H19	H20	H21			H22	H28
成果指標 交通事故発生件数(人身)	目標	件	250	210	210	資料(交通年鑑) 100以下で達成	H22	210
	実績	件	219	257	269		H23	200
	達成率	%	87.6	122.4	128.1		H28	180
	ベンチマーク						-	-
参考指標① 市民による事故発生件数	目標	件	70	65	65	交通事故1万人当たり換算 資料(交通年鑑)100以下で達成	H22	65
	実績	件	68	73	74		H23	60
	達成率	%	97.1	112.3	113.8		H28	55
	ベンチマーク						-	-
参考指標② 高齢者の交通事故被害件数	目標	件	60	60	60	65歳以上の人数 資料(備前警察署)100以下で達成	H22	60
	実績	件	69	71	68		H23	50
	達成率	%	115.0	118.3	113.3		H28	40
	ベンチマーク						-	-
参考指標③ 交通マナーが守られていると感じている市民の割合	目標	%	100.0	100.0	100.0	市民意識調査	H22	100.0
	実績	%	20.0	23.2	21.9		H23	100.0
	達成率	%	20.0	23.2	21.9		H28	100.0
	ベンチマーク						-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆	経費の性質 義務的 経常的 その他
				平成19年度			平成20年度			平成21年度				
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数		
1 交通安全啓発事業	A	交通安全啓発事務	単市	421	3,735	0.80	601	4,506	0.84	501	4,578	0.87	☆☆☆☆☆	経常的
		交通安全運動実施事業	単市	143	2,716	0.46	59	2,486	0.41	58	2,566	0.42	☆☆☆☆☆	経常的
		交通安全教室開設事業	単市	90	1,212	0.38	87	1,043	0.34	71	848	0.33	☆☆☆☆	経常的
		交通安全用品設置事業	単市	32	126	0.02	56	304	0.03	64	554	0.05	☆☆☆	経常的
2 交通安全団体支援事業	A	市交通安全対策協議会事業	単市	150	875	0.09	100	648	0.06	100	1,729	0.16	☆☆☆☆	義務的
		県交通安全母の会事業	単市	19	15	0.00	19	105	0.01	19	109	0.01	☆☆	義務的
		市交通安全母の会事業	単市	80	245	0.03	50	49	0.01	40	119	0.01	☆☆	義務的
3 交通安全施設整備事務	A	警察要望書提出事業	単市	0	213	0.03	0	336	0.03	0	197	0.02	☆☆	人件費のみ
4 交通安全施設整備事業	B	交通安全施設整備事業	単市	5,943	1,604	0.27	5,997	890	0.14	8,995	884	0.14	☆☆☆	経常的
5 交通安全施設維持管理事業	B	交通安全施設維持管理事業	単市	975	877	0.15	2,276	316	0.04	1,896	478	0.07	☆☆☆	経常的
6 市営駐車場維持管理事業	B	市営駐車場維持管理事業	単市	334	1,157	0.14	317	925	0.10	289	935	0.09	☆☆☆☆	経常的
				平成19年度			平成20年度			平成21年度				
				8,187	12,775	2.37	9,562	11,608	2.01	12,033	12,997	2.17		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
公安委員会	信号機等の規制に関する施設整備	交通事故の削減

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	人身交通事故の発生件数の減少は交通安全を象徴する指標として妥当である。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	妥当である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	継続的な実施が必要である	
本年度(H22年度)取組内容 (課題解決状況)		交通安全意識の啓発は一朝一夕に結実しないため、地道に施策を継続的に展開することが肝要である。一方で、高齢者の被害件数が増加していることから、高齢者への対策を強く意識する必要があるため、市の高齢者施策関係課との連携などを検討したい。	
翌年度(H23年度)取組目標		従前の取り組みに加えて、高齢者向けの啓発事業などの充実を図る。	
二次評価者コメント 役職 市民生活部長 氏名 野上 茂之		市内の各種関係機関との連携が取れており、交通安全意識の高揚が図られている。重点項目として、高齢者への啓発事業等を一層推進すること。	
		基本施策への貢献度	3 中立